

政見放送19日から始まる

ジウマの時間数圧倒的

前回より怖いマリナー猛追

10月の統一選挙に向けた政見放送が19日から始まった。大統領選の有力候補であるジウマ氏(労働者党・PT)、アエシオ・ネーヴェス氏(民主社会党・PSDB)、マリナー・シウヴァ氏(ブラジル社会党・PSB)の政見放送の傾向について19日付付伯字紙が報じている。

3候補共にカンポス氏追悼も



大統領選で台風の目となるマリナー氏(Fernando Fazio/ Agencia Brasil)

今回の大統領選の政見放送で最も多くの時間帯を獲得しているのは現職のジウマ氏で、全体で25分の放送時間のうち、11分24秒を確保している。政見放送の持ち時間は、前回の下院議員選挙での議席獲得数に比例して政党の持ち時間が決

13年の雇用創出3割増

10年間で2番目の少数サービスと公務員伸びる

労働雇用省が18日、2013年の雇用創出は2012年比29.7%増となる149万人で、正式雇用の総数は12年比3.14%増の4894万人と発表した。19日付付伯字紙が報じた。8月発表の数字は社会情報年の年次報告(Raísis)に基づき、全就業・失業者台帳(Caged)による110万人

という数字と異なる。これは、Cagedは正式雇用だけを数えるが、Raísisは一時採用なども含むため、労働市場の実態がより完全な状態で捉えられるという。13年の雇用創出のうち、サービス業で55万8600人の雇用増、公務員・公団職員40万3千人、商業28万4900人、製造業14万4400人、建築業6万人、農業1万5300人、鉱業2100人などとなっている。13年の雇用創出は2年より29.7%増えたが、12年の雇用創出(115万人)は2003年の86万1千人に上回ったものの、この10年間で最低だった。伸び代が大きかった。市長交代などによる

公共部門の雇用増は4.85%に上り、雇用全体を押し上げた。地域別の雇用創出数は北東部31万3200人、南部28万5600人、中西部21万9600人、北部12万1100人、南東部の伸びが大きい。ただし、地域別に見た前年比の伸び率は中西部5.5%、北部

4.62%、北東部3.64%、南部3.51%、南東部2.28%と低かった。平均給与は実質3.18%(男性3.18%、女性3.34%)とインフレ以上の伸びを記録。地域別の平均給与最高は中西部の2690レアル(男性2770レアル、女性2560レアル)、最低は北東部の1790レアル(男性1860レアル、女性1700レアル)だった。

女性の雇用は3.91%増え、男性の2.57%を上回ったが、女性の平均給与は男性の42.79%より拡大。大卒以上の場合の格差は最大で、女性の給与は同レベルの男性の60.9%に達した。職種や職業による給与の格差は15.8%、13%より改善された。学歴別の雇用増は6%以上の7.1%が最大

「私はPTのことに聞いていない」と食いついたが、大統領は同じ答えを繰り返した。交通技術公社(CECT)によると、今年の14月の聖市の交通事故による犠牲者が昨年同様に14.37%増え、406人になった。車やバイク、トラックなどに乗っかって死亡した人が

W杯が終わって最初のサッカー・ブラジル代表(セレソン)が19日午前に発表され、W杯のメンバーから半数以上が入れ替わった新鮮な顔ぶれとなった。19日付付伯字紙が報じている。W杯準決勝での対ドイツ戦で屈辱の1-7の大

敗を喫して以来、セレソンを再生を求めた声や国民から強くなったため、今回の選出には早くから熱い注目が集まっていた。記者団の前に発表した2人の選手のうち、W杯に引き続き選ばれたのはジェフェルソン、ダ

ビールすることで選挙を戦う意向だ。また、マリナー氏のPSBはカンポス氏の死にかけて「ルット(喪)であり、ルッタ(戦い)」とのアピールを行なう意向だという。カンポス氏に代わって、ルッタ氏が自政権で若くして大

W杯後初のセレソン発表

若手から国内選手まで多様

エル(ナポリ)と右サイドバックのダニロ(ポルト)という、ネイマールがサントスで南米一に輝いた際の若いメンバーが選ばれたこと、ネイマールと同年齢で現在イングランド強豪のリバプールで指合塔をつとめるフィリペ・コウチニョが選ばれたことだ。国内からは全国選手権で首位のクルゼイロから攻撃の要のエウヴェルトン・レイロと同選手権で現在得点王のロカド・グラール、同じく同選手権で好調のクリンチャンスから守備の要のジルとエリアスが選

前年比38人増え、総数を押し上げた。犠牲者が最も多かったのは南部のセナドール・テオトニオ・ヴィレラ大通り、4カ月で歩行者6人と車両利用者6人の計12人が死亡。マルジナル・チエテ全域の死者(歩行者4人、車両利用者8人)と同じ数を記録した。スポーツ裁判所は18

日、10日の対サントス戦で審判に暴行をふるったとして、クリンチャンスのミッドフィルダー、ペトロロに180日間の出場停止を言い渡した。ペトロロは今年の聖州選手権で大金星の連続で優勝した「テナボリス」のエリートとして活躍し、それがクリンチャンスの目玉選手となっていた。

秒10立方メートル(以下、立方M)だが、20日からは43立方M放水する事になる。この量はCespaが拒否した。ダム放水量を30立方Mに戻すようにとの全国電力システム運営機構(ONS)の命令を上回る。一方、同ダムからの放水量増加分の33立方Mは、同じ南バイパウ水系のパライブナ発電所のダム放水量を80立方Mから47立方Mに減らす事で相殺される。同発電所のダム貯水量はジャガア発電所より多く、放水量が増していたが、現在の水位は12.48%で、水位が37.73%が切迫している事に水資源庁(ANA)が懸念を表明していた。

19日、セレソンを発表するドゥンガ監督(Rafael Ribeiro / OBF)

争 紛 争 国の機関と聖リオ州合意

水 ダムと貯水池の放水で相殺

既報関連 聖州とリオ州の放水量削減で生じた聖州とリオ州間の水紛争は、国の機関も交

外国為替市場 8月19日午後4時現在

日葡辞典

各種平癒・健康祈願

南米神宮

Dr. MONICA Y. MORISHITA

弓場勇の生涯

kenko hirose

弓場勇の生涯

ADVOCACIA CIVIL

水野龍

貸 部屋

弓場勇の生涯

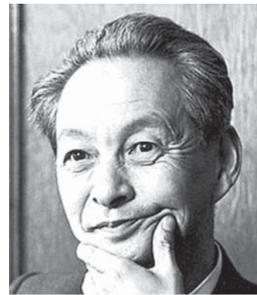
kenko hirose

弓場勇の生涯

日本人研究者6人が候補

ノーベル物理学と化学賞

湯川氏が朝永氏推薦



【ロンドン共同】1951〜63年のノーベル物理学賞と化学賞の選考で、物理学者の西島和彦氏ら日本人計6人（いづれも故人）が候補になっていたことが14日、分かった。朝永振一郎氏（写真上）はこの間、51年を皮切りに計7回候補になりながら受賞を逃し、14年後の65年に物理学賞を受けた。両賞の選考主体であるスウェーデンの王立科学アカデミーの選考資料を、米オハイオ州立大のジェームズ・パーソロミュウ名誉教授（日本史）が閲覧し確認した。朝永氏の同級生で、日本人で初めて49年にノーベル賞（物理学賞）を受賞した湯川秀樹氏（写真下）が朝永氏の推薦人となっていたことも新たに分かった。

地場野菜をあまりくPR

仙台菓子職人が研究会を発足

【共同】苦手な野菜がおやつに大変身。仙台市の菓子職人が地場野菜を使った新商品の開発やPRに力を入れている。7月には市周辺も含め11店が集結し、仙台市お菓子職人会（写真）が発足。参加者たちは「お菓子が市の認定を受けてきた。仙台市の「yuzuk」を元気づけたい」と意気込む。仙台産の野菜を生かした菓子づくりは農業振興の一環として、市主導で2011年に始まった。「仙台お菓子職人会」と銘打ち、これまで約70品が市の認定を受けてきた。

「共同」苦手な野菜がおやつに大変身。仙台市の菓子職人が地場野菜を使った新商品の開発やPRに力を入れている。7月には市周辺も含め11店が集結し、仙台市お菓子職人会（写真）が発足。参加者たちは「お菓子が市の認定を受けてきた。仙台市の「yuzuk」を元気づけたい」と意気込む。仙台産の野菜を生かした菓子づくりは農業振興の一環として、市主導で2011年に始まった。「仙台お菓子職人会」と銘打ち、これまで約70品が市の認定を受けてきた。



仙台産のハウレンソウを使ったチーズケーキ

年だった。物理学賞では朝永氏、西島氏（東大・京大名誉教授）に加え、中野重夫氏（大阪市立大名誉教授）の計3氏が候補となっていた。西島、中野の両氏は50年代に大阪市立大で共に研究していた。現代の素粒子論の土台となる「中野・西島・ゲルマンの法則」を提唱したことで知られる。また化学賞では、分子構造論の先駆者である水島三郎氏（東大名誉教授）と、和漢薬の薬効成分などの研究で知られた朝比奈泰彦氏（東大名誉教授）の計2氏が候補となっていた。西島、中野の両氏は50年代に大阪市立大で共に研究していた。現代の素粒子論の土台となる「中野・西島・ゲルマンの法則」を提唱したことで知られる。また化学賞では、分子構造論の先駆者である水島三郎氏（東大名誉教授）と、和漢薬の薬効成分などの研究で知られた朝比奈泰彦氏（東大名誉教授）の計2氏が候補となっていた。

松原家に伝わる安太郎伝

(14)

ウナ植民地は、実はわくわくの場所だと『曠野の星』は書いています。いわく「ウナは今から三十五年前（編註1929年）ドイツ移民が入って、河畔の近くに家を建て、原始林を開拓してカカオ、ゴムなどを植付けたが、雨季になるとマラリア（マラリア）が発生してバタバタと倒れ、遂に全滅の悲運を背めた。この点、平野植民地やチエ移住地に似ている」（7頁）。外国移民なら普通は入りたがらない処だったよう

翌54年にも脱耕騒ぎが再発し、『パイアのウナ移住地』の官憲を激怒させたため、日本の出先官憲及び民間有志の調停が入るなど、其の闘争は深刻を極めた。世論の不評を買った『曠野の星』（56年8月号、19頁）。

松原移住地でも移住者は困難に直面していた。『携行資金が貧弱な人が多く、生活と営農の困難さを訴えて、松原に借り入れを次々に申し込んでいた。ウナ植民地と合わせると松原個人の貸付金は26500コト、これは3100万円に相当する。今日の貨幣価値で見ると何10億円にもなる膨大さです。これらは回収不能なのです』（『移住研究』24号、21頁）とある。



10年目のウナ入植者夫妻『曠野の星』(1964年4月号、6頁)

を現在の価値に単純推定すれば、11億1600万円に相当する。ウナ脱耕事件は起きたが、結局、リオの移住民審議会は、53年度分として許可した枠を使って112家族（645人）を現在の価値に単純推定すれば、11億1600万円に相当する。ウナ脱耕事件は起きたが、結局、リオの移住民審議会は、53年度分として許可した枠を使って112家族（645人）

回収不能な移民への貸付け

「精神的な打撃ばかりでなく、移住民が多額の賠償金を要求してきたため、この事件処理のために擁じた経費、退去

を導いた実績を評価し、新たに54年分として160家族（950人）の枠を松原に許可した。1954年7月30日付エスタード紙は報じた。

たえ大統領の個人的な信頼という後ろ盾があったとしても、ウナ脱耕騒ぎが更に深刻化した。ギリギリの導入継続だったに違いない。ただでさえ、移住者への回収不可能な膨大な貸付けをしてきた松原に、止めを刺すように移住民は、ウナ脱耕者に関する賠償金を請求してきた。

自伝 子供移民の半生記

もし店を買ったとしたら、兄弟4人と今の店員2人で当分はやっていけそう。山口さんの熱心な記帳には圧倒された。閉店間際になっても終えず、残り明日に回すようになった。そこで近付きのための一タとして、商談が纏ります様にとセーミの奢りで御馳走になったが、こっちは田舎者。メーザの上に並べられた1ダースのビールを見てびっくり。田舎の家では酒類と言えはカマラーダ用に置いてあった下戸のビンがぐらいで、ビールと言えは、カザメント（結婚式）の時くらいにしか見ぬもので味わったこともなく、兄貴が少しと山口さんが少しいただき、グアラナとサルガジニョをつまみ、翌日の約束をして別れた。



中野文雄

必要なのはその決断。今年一年は赤字を覚悟のうえ、女物の靴を削ぎ、2割と見積もった反物の中の利用価値が低いものも値引きをしてすぐに処分すること等々、何から何まで教えてもらった。大変参考になった。また、こうした話し合いは急ぐより、少し長引かして先方を焦らせるのが得策なので2〜3日延ばすことも必要だという。それはひとつの作戦かも知れない。

ニッケイ新聞出版、宮坂国人財団・アリアンサ日伯文化連盟協賛

o Jeitinho no Japão para os brasileiros

ブラジル人のためのニッポンの裏技

日本語とポルトガル語の勉強にすぐ便利
面白くて分かりやすい
画像付き日常生活の会話
カテゴリー別、辞書付き
日本の生活ガイドにも

ご注文・お問い合わせ先
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで
郵便のご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギまで

ニッケイ新聞社 11-3340-6060 ●太陽堂 11-3208-6588 ●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399

特別価格 R\$50

「核兵器なき平和な世界を」

レジストロ平和灯ろう流し

聖南西日語校から150人も参加

聖南西日語校のベイヤ・リオ公園で16日昼から、日本の終戦記念日に合わせて毎年開催される「第6回平和灯ろう流し」と「盆踊り」が行われ、約1500人が参加した。今年も特別に世界文化遺産登録1周年を記念した「富士山写真展」(静岡新聞社、ニッケイ新聞社共催)が併設され、聖南西地区の日語学校生徒と父兄ら約150人が参加し、雨にもかかわらず夜11時までには終わった。

長崎知事「伯国での開催意義深い」

「核兵器なき平和な世界の目指し、レジストロの地から声を発信し続けたい」。山崎敏明実行委員長はそう力強く開会式を述べた。長崎市長は「伯国での開催意義が深い」と述べ、長崎県知事、山崎市長、金子国栄さん、ヤスタ・ミツル・パウロさんらに黙祷が捧げられた。つづいて長崎県人会の川添博会長が、中村法道長崎県知事のメッセージを代読した。《遠く離れたブラジルで本式典が開催されることは大変意義深い》とし、さらに《来年は被爆70周年という節目の年です。核兵器のない平和な世界を1日でも早く実現できるよう、全世界に向けて平和のメッセージをこれまで以上に強く発信してまいります》と締めくくった。



被爆犠牲者に黙祷する参加者の皆さん(左:聖南西地区の日語学校生徒が歌声を披露した)

慶応医学部派遣団が来伯

「医療の根本を見た」

慶応義塾大学医学部国際医学研究会(IMA)の「第37次派遣団」(竹内裕也団長)が今年も来伯。3人の学生がアマゾン、クイアバ、聖市などで医療研修を行っている。医療資源の乏しい地域での活動を通して医の原

点を体験し、各地の医学者と交流することが目的。1978年から継続している。3人は6年生の夏休みを利用して、7月20日、今日29日まで滞在。はじめにアマゾンでの巡回診療船に同乗し、続くクイアバでは先住民の村で

「今年昇平さん(23、兵庫)はアマゾンでの研修を振り返り、「限られた医療器具で工夫して医療活動をしたのが驚き。医療の根本を見ることとできた」と話した。国際保健や発展途上の医療に関心があるという工藤裕美さん(25、兵庫)は、「先住民と医療チームとの間に長年かけて築かれた信頼関係があ



左から工藤、今枝、竹内、加藤さん

り、すばらしい」と感動があり、ブラジルに関心

富士山写真展に人だかり

「いつか登ってみたい」

「第6回平和灯ろう流し」会場テント内には約40枚の富士山写真が展示され、ひっきりなしに地元来場者も訪れ、じっくりと鑑賞した。聖市在住の日野寛幸さん(68、福岡県出身)は、「子どもの頃から富士山に一度登りたかった。でも九州から電車で神戸まで来て、船でブラジルへ来てしまった。もともと富士山を見ることはなれ、じっくりと鑑賞したい」と思い続け、「昨年11月に訪日した折、『雪を見てみたい』という二世の妻を連れてきた」といふ加藤悠人さん(23、東京)は、「学生の内にしかできないことをやりたかった。1カ月半は足りないうらい」と笑顔を見せた。14次派遣団に参加した竹内団長(46、神奈川県)は今回で来伯4回目。聖市での講演も予定している。「ブラジルを見るだけで世界の広さを知ることができる。学生には良い刺激」とエールを送った。



熱心に鑑賞するレジストロ市民ら

にもウォツボッカという山があつて、レジストロ口富士と呼んできた。低いけど、遠くから見ると富士と同じような形をしているよ」といふ。「でも、その頂上に登っても大木が生えていて、中腹まではバナナが植わっている。この写真の様な眺めはない。本物の富士山の写真が見られて良かった。いつか登ってみたい」との思いを新たにしていた。

茶道裏千家60周年 記念式典、茶会を盛大に

茶道裏千家淡交会総本部が南米普及60周年を記念し、当地に裏千家を普及した千玄室大茶匠(15代家元)を迎えて8月29日から3日間、聖市で記念イベントを開催する。29日は会員限定の晩餐会、30日は午前10時から聖州政庁(パルティダ・デ・サン・ジョゼ・ド・モルumbi, 4200)で「記念式典と献茶式」が開かれる。式典には、茶会も開催される。参加無料だが事前に入場券の申込みが必要。31日は午前10時から「60周年記念茶会」がグランド・ハイヤットホテル(Av. das Nações Unidas, 13301, Itaim Bibi)である。アマゾン席、南米席、点心席など全8席。国内外から500人、国内も合わせると約1千人の来場を見込む。入場には茶券が必要。当日購入も可。案内のため竹田宗知(池田宗美、松原宗美)が来社し、「大茶匠がお見えになるので盛大に行きます。この機会にぜひ」と呼びかけた。申込は(11・5535・1723、99119・0555/池田さん、同・3815・3641、96636・5138/星さん、Eメールは urasentei.brasi1@gmail.com)まで。

「敗戦の日の折」一夢は遠野を駆け巡る「聖地イストラエルの旅」を上映する。問い合わせは同席(11・5011・1785)まで。

www.nikkeishimbun.com.br
ニッケイ新聞
【営業時間】
月曜～金曜日: 祝日を除く
午前9時～午後4時
(11) 3340-6060
Rua da Glória, 332
Liberdade
CEP 01510-000
São Paulo - SP
【購読】
nikkeishimbun@
yahoo.com.br
【広告】
anuncio@nikkeishimbun.jp

VIAÇÃO GARCIA
Diminuindo Distâncias. Aproximando Pessoas.
LONDRINA / SÃO PAULO
SÃO PAULO / LONDRINA
MARINGÁ / SÃO PAULO
SÃO PAULO / MARINGÁ
INFORMAÇÕES: 0800 400 70 90
www.viacaogarcia.com.br

制作部員を募集
仔細面談、ニッケイ新聞編集部
電話 11-3340-6060
nikkeishimbun@gmail.com 深沢まで連絡を。
外山脩著 『百年の水流』
外山脩著 百年の水流 80レアル
コロンビアに起こった大事件を主軸に 百年の歴史を追い、未来を考える

